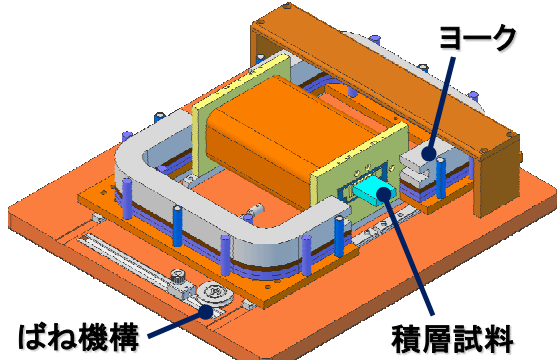
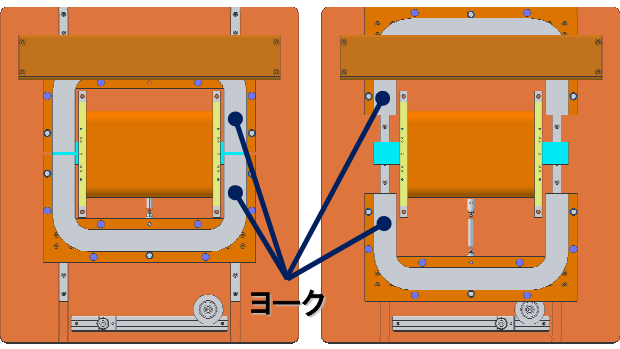


発 明 の 名 称 じきとくせいしけんき 磁気特性試験器	
技 術 分 野 ■電機・電子 <input type="checkbox"/> 情報・通信 <input type="checkbox"/> 有機材料 ■金属材料 <input type="checkbox"/> 食品・バイオ <input type="checkbox"/> 土木・建築 <input type="checkbox"/> 農林・畜水産 <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> 機械・加工 <input type="checkbox"/> 化学・薬品 <input type="checkbox"/> 無機材料 <input type="checkbox"/> 輸送 <input type="checkbox"/> 生活・文化 <input type="checkbox"/> 繊維・紙 <input type="checkbox"/> 医療・介護
利用分野・適用製品 ・磁気特性試験器 ・各種電気機器 (モータ、発電機、トランス、 アクチュエータ、磁気シールド等)	
技術情報 詳細資料：■有 <input type="checkbox"/> 無 サンプル： <input type="checkbox"/> 有 ■無 見 学： ■可 <input type="checkbox"/> 不可 実施権許諾実績： <input type="checkbox"/> 有 ■無 事業化実績： <input type="checkbox"/> 有 ■無 そ の 他：	
従来技術の課題・問題点等 モータやトランス等の電磁機器の鉄心等として組込まれる磁性材料の磁気特性は、機器の設計・開発に必須の材料データである。鉄心用途の磁性材料は、通常積層して使用されるため、実使用条件に近い積層状態での磁気特性の測定ニーズがある。例えば、アモルファス金属薄帯(厚さ0.025mm程度)は、積層による磁気特性の変化が顕著であるため、これを安定して測定する試験器が期待されている。磁性材料(薄板)を1枚使用する単板磁気試験器は規格化されているが、複数枚積層された試料(積層試料)に対して測定が可能な試験器は実用化されていない。実用化に向けた課題には、積層試料内部の磁束を巧みに検出すること、積層試料とヨークとを良好に接触させること等があった。	
本発明により解決したポイント 下記の特徴を有する、積層試料の磁気特性を測定可能な試験器を提案する。 1) 積層試料の上下左右それぞれに H コイルを配置 2) ヨーク端部を凹状に形成し一对のヨークの両端部で試料の両端部を挟持 3) 一对のヨークを引張(ばね)力で一定の力で引き寄せる機構 4) B(磁束密度)コイルの内側に空隙補償コイルを配置	
技術の概要(構造・動作等) 当該発明によって、積層試料に対する磁気特性試験器を構成できる。磁界強度(H)を測定するためのHコイルを積層試料の上下左右面にそれぞれ配置する構造は、積層試料の磁気特性の精度良い測定を可能としている。また、各ヨークの試料に接する部分、端部を凹状に形成し一对のヨークの両端部で試料の両端部を挟持する構造と、一对のヨークの間に引張(ばね)力を作用させる機構にて、積層試料とヨークとを良好に接触させることができるので、試料に加わる磁界の分布や試料の内部の磁束の分布を均一にすることができ、磁気特性をより安定かつ正確に測定することができる。	
図・写真・特記事項等	
 <p>磁気特性試験器の外観イメージ</p>  <p>ヨーク閉時 ヨーク開時 試験器上外観</p>	
特 許 情 報 登録番号/公開番号: 特許 5769179 号 出 願 日: 平成 25 年 2 月 1 日 (2013 年) 登 録 日: 平成 27 年 7 月 3 日 (2015 年) 権利者/出願人: 大分県	関 連 特 許 情 報 登録番号/発明の名称: